

平成21年8月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年1月8日

上場会社名 株式会社 三栄建築設計
 コード番号 3228 URL <http://www.san-a.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長
 四半期報告書提出予定日 平成21年1月14日

(氏名) 小池 信三
 (氏名) 吉川 和男

TEL 03-3395-3591

上場取引所 名

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第1四半期の業績(平成20年9月1日～平成20年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第1四半期	5,248	—	91	—	14	—	8	—
20年8月期第1四半期	4,691	42.9	629	94.7	520	130.3	274	135.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第1四半期	341.94	—
20年8月期第1四半期	11,597.92	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年8月期第1四半期	21,243	—	5,516	—	26.0	233,281.46
20年8月期	22,183	—	5,591	—	25.2	236,439.51

(参考) 自己資本 21年8月期第1四半期 5,516百万円 20年8月期 5,591百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	—	—	3,500.00	3,500.00
21年8月期	—	—	—	—	—
21年8月期(予想)	—	—	—	4,000.00	4,000.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	13,626	17.2	717	△32.7	511	△40.1	276	△38.5	11,689.90
通期	30,037	8.3	2,535	10.0	2,109	12.7	1,139	11.3	48,183.49

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年8月期第1四半期 23,647株 20年8月期 23,647株

② 期末自己株式数 21年8月期第1四半期 1株 20年8月期 1株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 21年8月期第1四半期 23,647株 20年8月期第1四半期 23,647株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性があります。この影響のため、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期会計期間におけるわが国経済は、GDP(国内総生産)が2四半期連続マイナスになるなど世界的な規模の金融不安等の諸問題により、深刻な打撃を受けております。家計部門においては雇用情勢の深刻化などの影響により所得の押し下げや消費マインドが減退し、個人消費が低調に推移しております。企業部門においては世界的な金融危機の深刻化が米国景気及び欧州景気の一層の下振れ懸念になり、設備投資の減少傾向が見受けられ、また急激な為替相場の変動がさらに景況感を押し下げ、内需・外需とも厳しい状況となりました。

当社の属する不動産業界におきましては、信用収縮や資金繰りの問題を理由として建設業や不動産業などの大型倒産が発生し、マンション会社をはじめとする不動産業界全般において市況の悪化が進み、厳しい環境となっております。また、景気は減速感が強まり雇用情勢も悪化しておりますので、住宅の需要の低迷や販売価格の下落に伴い、未成約在庫の増加や収益率が低下しております。

このような中、当社におきましては、慎重な需要予想に基づく仕入の厳格な精査及び事業回転率を重視した経営に尽力するとともに、より一層の建築原価のコストダウンを図ってまいりました。同時に当社の強みである高いデザイン性、居住性に富んだ品質の高い住宅をリーズナブルな価格で提供し、特に3階建て企画を中心として他社との差別化を図ってまいりました。

この結果、当第1四半期会計期間の売上高は5,248百万円、営業利益は91百万円、経常利益は14百万円、四半期純利益は8百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

①不動産販売事業

不動産販売事業におきましては、販売価格の下落が消費者の購入意欲を促し、首都圏の戸建住宅への潜在的な需要は底堅く推移しておりますが、同業他社との競争による販売価格の下落により利益が縮小しました。

以上の結果、全店で販売件数139件となり、売上高は5,063百万円、売上総利益は342百万円となりました。

②賃貸収入事業

賃貸収入事業におきましては、現在所有している物件の管理を徹底することにより、売上高は順調に推移しました。

その結果、売上高169百万円、売上総利益は109百万円となりました。

③不動産請負事業

当期より従来の事業に加え、注文住宅等に伴う不動産請負事業を行っております。

当第1四半期は1件の販売により、売上高は15百万円、売上総利益は4百万円となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ939百万円減少し、21,243百万円となりました。これは主に、法人税等の支払い及び配当金の支払いにより現金及び預金が1,783百万円減少したためであります。

負債につきましては、前事業年度末に比べ864百万円減少し、15,727百万円となりました。これは主に、買掛金が505百万円減少したこと、及び未払法人税等が522百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ74百万円減少し、5,516百万円となりました。これは主に、配当金の支払い78百万円により、利益剰余金が減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における「現金及び現金同等物」（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ、1,656百万円減少して503百万円となりました。

当第1四半期会計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により使用した資金は1,795百万円となりました。その主な要因は、たな卸資産が1,031百万円増加したこと、及び仕入債務が505百万円減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により獲得した資金は147百万円となりました。その主な要因は、定期性預金の払戻による収入が169百万円増加したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、9百万円となりました。その主な要因は、用地仕入資金及び賃貸物件購入資金の長短借入金の借入額3,837百万円を長短借入金の返済額3,741百万円、社債の償還による支出26百万円及び配当金の支払額78百万円が上回ったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年8月期の業績予想につきましては、現時点では、平成20年10月10日公表の業績予想に変更はございません。

4. その他

（1）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算出方法

定率法を採用している資産については、当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

（2）四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①「四半期財務諸表に関する会計基準」等の適用

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当第1四半期会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算出しております。

これによる損益に与える影響はありません。

5. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	503,225	2,287,012
売掛金	14,464	11,700
販売用不動産	4,652,005	5,071,680
仕掛販売用不動産	10,456,022	9,004,824
その他	261,068	403,575
貸倒引当金	△5,215	△1,515
流動資産合計	15,881,570	16,777,278
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,747,675	2,747,675
減価償却累計額	338,290	311,730
建物(純額)	2,409,384	2,435,945
土地	2,346,370	2,346,370
その他	82,011	49,541
減価償却累計額	37,176	34,544
その他(純額)	44,835	14,996
有形固定資産合計	4,800,590	4,797,312
無形固定資産	415,615	402,733
投資その他の資産	145,978	205,740
固定資産合計	5,362,184	5,405,786
資産合計	21,243,754	22,183,064
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,782,939	2,288,829
短期借入金	8,156,750	8,366,650
1年内返済予定の長期借入金	675,072	856,872
1年内償還予定の社債	194,000	194,000
未払法人税等	10,358	532,647
賞与引当金	129,109	88,808
その他	316,619	268,734
流動負債合計	11,264,849	12,596,541
固定負債		
社債	1,247,000	1,273,000
長期借入金	2,880,555	2,393,001
退職給付引当金	36,709	31,916
役員退職慰労引当金	190,419	188,178
その他	107,814	109,342
固定負債合計	4,462,498	3,995,437
負債合計	15,727,347	16,591,979

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成20年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成20年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	529,285	529,285
資本剰余金	427,800	427,800
利益剰余金	4,559,320	4,633,999
株主資本合計	5,516,406	5,591,085
純資産合計	5,516,406	5,591,085
負債純資産合計	21,243,754	22,183,064

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成20年9月1日 至平成20年11月30日)
売上高	5,248,416
売上原価	4,780,921
売上総利益	456,225
販売費及び一般管理費	364,889
営業利益	91,336
営業外収益	
受取利息	330
解約手付金収入	5,000
保険解約返戻金	3,654
その他	5,658
営業外収益合計	14,643
営業外費用	
支払利息	80,459
その他	10,992
営業外費用合計	91,452
経常利益	14,528
税引前四半期純利益	14,528
法人税、住民税及び事業税	8,633
法人税等調整額	△2,190
法人税等合計	6,442
四半期純利益	8,085

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期累計期間
 (自 平成20年9月1日
 至 平成20年11月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	14,528
減価償却費	32,100
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,700
賞与引当金の増減額 (△は減少)	40,301
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,793
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,241
受取利息及び受取配当金	△330
支払利息	80,459
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,763
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,031,522
前渡金の増減額 (△は増加)	139,945
仕入債務の増減額 (△は減少)	△505,889
その他	32,221
小計	△1,190,214
利息及び配当金の受取額	330
利息の支払額	△76,343
法人税等の支払額	△529,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,795,391
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△7,028
定期預金の払戻による収入	169,142
有形固定資産の取得による支出	△32,470
無形固定資産の取得による支出	△15,671
投資有価証券の売却による収入	21,300
その他	12,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	147,694
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	3,101,100
短期借入金の返済による支出	△3,311,000
長期借入れによる収入	736,200
長期借入金の返済による支出	△430,668
社債の償還による支出	△26,000
配当金の支払額	△78,720
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,088
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,656,786
現金及び現金同等物の期首残高	2,160,012
現金及び現金同等物の四半期末残高	503,225

当事業年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期財務諸表等規則」に従い四半期財務諸表を作成しております。

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期損益計算書

科目	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	4,691,524
II 売上原価	3,682,504
売上総利益	1,009,020
III 販売費及び一般管理費	379,258
営業利益	629,761
IV 営業外収益	6,263
V 営業外費用	115,895
経常利益	520,129
税引前四半期純利益	520,129
法人税、住民税及び事業税	228,008
過年度法人税等	10,320
法人税等調整額	7,544
四半期純利益	274,256

(2) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前第1四半期純利益	520,129
減価償却費	26,480
貸倒引当金の増加額	976
賞与引当金の増加額	38,458
退職給付引当金の増加額	3,101
役員退職慰労引当金の増加額	4,500
受取利息及び受取配当金	△94
支払利息	96,091
デリバティブ損失	4,966
売上債権の増加額	△578
たな卸資産の増加額	△1,282,490
前渡金の増加額	△77,358
仕入債務の減少額	△509,782
未払消費税等の増加額	11,684
未払金の減少額	△42,292
前受金の減少額	△18,158
預り敷金保証金の減少額	△2,398
その他	26,943
小計	△1,199,821
利息及び配当金の受取額	94
利息の支払額	△96,631
法人税等の支払額	△589,507
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,885,865
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△3,000
有形固定資産の取得による支出	△222,773
無形固定資産の取得による支出	△12,326
その他	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△238,109

	前年同四半期 (平成20年8月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	4,097,150
短期借入金の返済による支出	△2,491,320
長期借入れによる収入	1,137,800
長期借入金の返済による支出	△1,295,120
社債の償還による支出	△56,000
配当金の支払額	△77,722
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,314,787
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—
V 現金及び現金同等物の減少額	△809,187
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,917,367
VII 現金及び現金同等物の第1四半期末残高	1,108,180